

# ヒューマン interview

国連広報センター所長

〈来週24日は、国連の  
発足を記念する「国連デー」。  
国連広報センターは、日本の人々に、国連  
への関心と理解を深める  
活動を行っている〉

## ねもと 根本 かおる さん

——昨年、国連でSDGs（持続可能な開発目標）が採択されました。国内での認知度はこれからどんどん上がっていくと思いますが、SDGsには日本が果たすべき約束が含まれています。子どもの貧困や男女間格差、気候変動といった問題の解決だけでなく、防災対策の推進や、東京五輪・パラリンピック開催による健康増進、ユニティの活性化なども、SDGs達成に深く

関わっているのです。

SDGsの期限は、2030年です。その時、社会の中核を担う今の若い人たちに、「何ができ

るだろうか」と考えてもらいたいと思います。

——国連との出会い、転機は？

国際的なことに関わり

たいと思い、勤めていたテレビ局を退職し、米コロンビア大学の大学院に留学。その時、UNHCR（国連難民高等弁務官

事務所）のインターンとして、ネパールに行きま

した。そこで現地の難民キャンプへ、ブータンから避難してきた一人の女性と出会ったのです。

国連の使命とは、国際の平和と安全の維持、人権の推進、そして経済開発の推進の三つです。広報センターの原動力は、こうした国連の活動を日本の方々に伝えたいという熱意です。

——何が精力的な活動の支えに？

国連の使命とは、国際の平和と安全の維持、人権の推進、そして経済開発の推進の三つです。広報センターの原動力は、こうした国連の活動を日本の方々に伝えたいという熱意です。

平和への活動を  
人々に伝えたい——  
それが私の原動力。



兵庫県神戸市生まれ。大学卒業後、テレビ朝日に入社し、アナウンサー、記者を務めた。米コロンビア大学での修士号取得を経てUNHCRへ。さまざまな任地で職務を担当した。

事務所のインターンとして、ネパールに行きま

した。そこで現地の難民キャンプへ、ブータンから避難してきた一人の女性と出会ったのです。

国連の使命とは、国際の平和と安全の維持、人権の推進、そして経済開発の推進の三つです。広報センターの原動力は、こうした国連の活動を日本の方々に伝えたいという熱意です。

### MEMO

「語学というのは、後からでも身に付けることができる。大切なのは、言葉によって伝わる中身の方だ」——グローバル化の進展によって語学の重要性が叫ばれる昨今。世界を舞台に活躍してきた根本さんの言葉は重い。常に自分自身を磨いていく必要性を痛感した取材だった。（忠）

ことを訴えています。

今年持続可能な世界の実現への出発点になります。よりよい地球を子どもたちに引き継げるかは、私たちの手に掛かっているのです。